

流山市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）に係るパブリックコメント実施結果 実施期間：平成27年9月1日から同月30日

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	条例 修正案
1 - 1		全体	「平成28年度の保険料の見直しを、流山市国民健康保険運営協議会に諮問し慎重な協議を重ねた結果、保険料の引き上げはやむ得ないとの答申が出されました。」との説明ですが、これは、現に毎年決して安くはない保険料を納めている年金生活者としては、将来への不安をとでも掻き立てられる文言です。 年金は、マクロスライド制のもと、今後も色々理由をつけられて削られていくのであり、今現在でも健康保険料を払えず、資格証明を受けて借金を重ねざるを得なくなっている人もいる中で、「やむを得ないから値上げ…」だけでは、そういう人々を増やすだけだと思います。運営協議会での検討は、その問題の解決案も議論しているのでしょうか。	今回の保険料の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担などを配慮し設定させていただいております。 国民健康保険運営協議会では、ご意見のような状況等に関しての議論もありましたが、国保財政の状況を考慮した上で、複数の保険料改正案のうち、低所得者層に配慮した案を答申いただいたところです。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができると考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 なお、本市では、保険料に未納があっても限度額認定証の発行制限を設けていないほか、資格証明書を発行している場合でも、緊急時には短期保険証を発行し、医療の確保を図っているところです。	無	無
1 - 2		全体	(広報記事の)理由説明の中で、国民健康保険が負担する医療費云々は増加する一方で保険料収入は横ばいとなっています。とありますが、医療費関連費用の財源を原則保険料収入だけで賄うというのはもともと無理ではないかと思われる。福祉に金は使わない、という国の姿勢の影響もあるのでしょうか、それでも、追い詰められていく弱者の最後のさいごの姿にも想像力を働かせて、自治体の責任を責める姿勢を堅持してほしいと願っています。	国民健康保険の保険給付費の財源は、主に保険料、国・県からの補助金、会社の健康保険組合からの補助金、一般会計からの繰入金となっており、保険料収入のみというわけではありません。 本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
1 - 3		全体	平成28年度の保険料値上げ(案)は、年金生活者の老後不安を一層高めることになります。値上げの理由として、医療費が増加する一方で、保険料収入は横ばいとなっている事が挙げられていますが、財源を保険料収入だけで賄うのは、もともと無理な施策だと思われます。聞く所では、保険料の各自治体への財政支援が政府と地方三団体との間で合意され、流山市では1億6,000万円投入されるそうですが、その支援金が是非、目的通り保険者支援に当てられて、保険料値上げが回避されることを希みます。	国は、国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年1,700億円の財政支援を行います。 この財政支援により約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げるとは困難であると考えます。 また、一般会計からの赤字繰入金も、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、まずは、4億円を超える赤字繰入金の削減をすべきと考えます。	無	無
2		全体	高齢者が長生きすることは喜ぶべきことと思うのですが、大勢の人が寿命を延ばすことで市の負担金を増加しなければならぬといわれては、空に爆撃機が大きな音をたてて飛んでいます。 軍事費をどんどん増やすようなことはやめて、外交ではなくて良い方法を考えて、もっと社会保障に暖かい街をつくるように働きかけてほしいと思います。	国民健康保険の保険給付費の財源は、主に保険料、国・県からの補助金、会社の健康保険組合からの補助金、一般会計からの繰入金となっており、保険料収入のみというわけではありません。 本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 また、我が国は、急速な少子高齢化に伴い、想定以上に社会保障の費用が伸びています。 このため、国は、世代を問わず一人ひとりが安心して暮らせる社会を実現するために、「社会保障と税の一体改革」を行い、全世代を対象とする社会保障の充実を図っております。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
3		全体	低所得者は正直食べるだけで毎日節約の生活をしています。 国保料の引き上げで滞納者が増加し、必要な時早期発見 早期治療が手遅れとなり遂に医療費は増加します。元気で 安心して生きていくためにはいつでも安心して使える国保証 は私達の大切なものです。 レセプト点検など無駄なお金の使い方を考えてください。病 気の多さんある者としては保険証が本当に大切なもので す。よろしく願い致します。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができると考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 なお、本市では、保険料に未納があっても限度額認定証の発行制限を設けていないほか、資格証明書を発行している場合でも、緊急時には短期保険証を発行し、医療の確保を図っているところです。 また、レセプト点検については、医療費の適正化による歳出削減対策として行っているもので、昨年度は約7千万円の削減が図れたところです。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
4		全体	国保料の引き上げは滞納者を増加させ収納のための人員の増加などかえって多くのお金を必要とします。 高齢者が増えることは今になってわかった事ではありません。 高齢者の年齢になるまで私達は労働者として朝から晩まで働いてきました。 何か不都合な事でもありますか。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができると考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
5		全体	低所得者は「食」だけでも毎日節約して生活しています。 国保料の引き上げで滞納者が増加し必要な時「早期発見、 早期治療」が手遅れとなり逆に医療費は増加します。元気で 安心して生きて行く為にはいつでも使える国保証は私達の 財産です。レセプト点検など無駄なお金の使い方は改めて 下さい。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができると考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 なお、本市では、保険料に未納があっても限度額認定証の発行制限を設けていないほか、資格証明書を発行している場合でも、緊急時には短期保険証を発行し、医療の確保を図っているところです。 また、レセプト点検については、医療費の適正化による歳出削減対策として行っているもので、昨年度は約7千万円の削減が図れたところです。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
6		全体	低所得者なのに食だけでも毎日節約して生活しています。 国保料の引き上げで滞納者が増加しています。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができると考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
7		全体	保険料を上げない下さい。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
8		全体	年金生活だけで、保険料、介護保険の値上げです。 来年から消費税10%になり、年金だけの生活で家賃の支払い、残りで電気、ガス、水道代を支払い、朝抜き、夜抜きで生きているのが、その上、保険料値上げ、来年は生きていけません。 後期高齢者になったら死ぬしかありません。 千葉県は県民をそんなに苦しめて、楽しんでいるのでしょうか。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
9		全体	市民全員が安心して病院にかかれるために国保料金は現状のままでお願いします。これ以上の負担は出来ません。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
10 - 1	実施要 領3 ページ	全体	イ 均等割を上げるのは反対です。今でも医療を受けにくいという人があるのに、もっと上げたら死ぬというのですか。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できると見込んでおり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、本市では、保険料に未納があっても限度額認定証の発行制限を設けていないほか、資格証明書を発行している場合でも、緊急時には短期保険証を発行し、医療の確保を図っているところであり、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応していきたいと考えております。	無	無
10 - 2	実施要 領1 ページ	全体	歳出が増えているという点は国からの交付金でまかなえばよいと思う。交付金を一体何に使っているのですか。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
11 - 1	P1～3	全体	医療費通知や、レセプト点検の充実等で人件費を使い、国からは補助金が出ているという。 でもその金額等については触れられていない。 情報公開をしないのはなぜか。意図的なものなのか。	国民健康保険の事業運営に係る人件費や事務費については、全て一般会計からの繰入金で賄うこととされているため、医療費通知やレセプト点検の充実等の医療費適正化対策に係る人件費には、国、県からの補助金等は一切充当されず、全て医療給付費等に充当されています。 また、金額等については、毎年、予算・決算の段階で、ホームページ等で公表しております。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
11 - 2	P 3	全体	いざ病院にかかろうと思ったら医療費が払えなかったり。国保は大切です。値上げしないで下さい。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
12		全体	今までも保険料が高くて払うのが大変なのに、更に値上げすることは市民の生活を全然かえりみないやり方です。特に均等割分を上げるのは反対。 国からの補助金が増えているのに、何故上げるのか。むしろ下げるべきです。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げるとは困難であると考えます。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置がされており、ここ2年程軽減対象者が拡充されており、来年度についても軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
13		全体	国が平成27年度から1700億円の市町村国保への支援を拡大したのに、(加入者一人当たり5,000円に相当する財政負担の軽減)なぜ流山市は、値上げするのか？それも均等割をupすることが、所得の少ない人にとっては、大変なことだと認識して下さい。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げるとは困難であると考えます。 赤字補填分として、法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置がされており、ここ2年程軽減対象者が拡充されており、来年度についても軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
14		全体	保険料引き上げる事で、食費をけずり病気になるれば医療費が増し、国が困るのではないのでしょうか。 高所得者に増を求め、低所得者は増やさないという選択をするのが、市民のための政治をになう市役所の判断だと思います。 増やさないという選択をした市に移住するという人もでてくるでしょう。 高齢者の方々が、どんな思いで生活をされているか、思いやりを持った市であって欲しいです。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である、1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
15		全体	市は4月から保険料を上げそうですが、反対です。 今でさえ国保料が払えなくて、病気になるっても病院で診察を受けられない人が多いのに、これ以上値上げされたら保険料を払えない人が多く出てきます。これは深刻な問題です。値上げはやめてください。 又、障害者の息子がいますが、働けないのに今の保険料は高すぎます。これ以上市民を苦しめないで下さい。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、本市では、保険料に未納があっても限度額認定証の発行制限を設けていないほか、資格証明書を発行している場合でも、緊急時には短期保険証を発行し、医療の確保を図っているところであり、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応していきたいと考えております。	無	無
16		全体	均等割を1300円も増額するのは低所得者に負担をしいるものです。 今でも一日1000円以内でやりくりして、必死で介護保険料や国保を支払っています。このままでは国保を支払えないで医者にもかかることができます。 老人は死ぬということですか。 低所得者は早く死ぬよう進めているんですね。とても許せん。 小中学校、体育館に金をかけすぎて、老人を切り捨てにするのはダメです。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、本市では、保険料に未納があっても限度額認定証の発行制限を設けていないほか、資格証明書を発行している場合でも、緊急時には短期保険証を発行し、医療の確保を図っているところであり、今後も被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応していきたいと考えております。	無	無
17		全体	国保値上反対	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
18		全体	国保料の値上げは反対です。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
19		全体	年金生活に入り、国民健康保険料の負担の高さにびっくりしています。 流山市は国保料は他市と比べ高額です。これ以上の負担増はやめていただきたいと思います。	平成25年度の流山市の1人当たり保険料は、千葉県内54市町村中33位、保険料負担率(所得に占める保険料の割合)は51位であり、千葉県内で比較すると保険料負担が低い自治体となっております。 パブリックコメント参考資料 のモデルケースにもあるとおり、保険料を改定した場合でも、流山市よりも負担が多額になる自治体もあるため、ご理解いただきたいと思います。	無	無
20		全体	国保料の引き上げに反対します。 年金は毎年減り、介護保険料が大幅値上げ、暮らしが大変です。それなのに国保料値上げはもってのほか。国からの保険者支援金を全額保険料引き下げに使うべきです。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げことは困難であると考えます。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 また、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、平成27年度の年金額は、特例水準の平成25年度からの段階的引き下げ及びマクロ経済スライドの発動により、実質の物価、賃金指数を下回ることになりますが、平成26年度との比較では、0.9%引き上げとなっております。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
21		全体	高齢化の進む中で保険料の値上げは安易な解決法です。長期的・総合的立場から考えないと、これからずっと値上げを継続することになります。そこで安易な保険料値上げではなく、次のような体も頭も健康な高齢者を増加させる施策が必要です。 1.体力の増進 体力測定と日常の運動を結びつける。測定を年1回実施。家庭で練習できる運動を公表し準備させる。 2.健康診断を受けない人達のために、地域への出張診断を行う。 3.健康を維持するための栄養指導を地域毎に行う。 4.自覚的な市民養成の高齢者中心の流山市民大学を創立する。場所は公共の施設を無料で提供し、市民から講座と講師を自薦してもらい、学生を募集し、有料で開講する。 5.高齢者も喜んで行きたくなるような、明るい、新しい、充実した中央図書館をつくる。市民の知的な楽しみの居場所が欲しい。	医療費の増加が保険料の値上げの要因となることから、医療費を抑制する保健事業が今後重要であるという認識は、同じであると思います。 ご指摘の事業については、費用対効果などを検証する必要がある、そのまま施策として反映することにはなりません、研究すべき事項であると考えています。 本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
22		全体	病気になって初めてわかる健康保険のありがたさです。健康体でいるためにはどうすることが一番良いか。 この頃はご近所に老夫婦が増えてきました。二人揃っている内は良いのですが、一人暮らしになるとあっという間に体調を悪くして、病院に入院のパターンが多くなっております。体が悪くなってからでは遅いのです。その前に何とか知恵を出し合って保険料を有効に使うべきです。 民間の保険会社はいろいろな条件があり、誰でも入れる国民健康保険は大切です。この国民健康保険の制度が永く財政破綻させない様に、皆で下支えして行く事は大切な事だと思います。 賛成する事に致します。	今後も、被保険者が安心して医療が受けられるよう、国民健康保険制度を持続可能な制度として維持し、財政運営の安定化を図ってまいります。	無	無
23		全体	安易な今回の条例改正は認められない。 但、今後の業務運用にとって必要不可欠ならやむない措置と考える。 より高い質のサービス確保を条件とします。	今回の条例改正については、流山市国民健康保険運営協議会や政策調整会議等において、慎重な審議を重ねた結果、本市の国民健康保険の財政状況を鑑み、引き上げについてはやむを得ないとの結論に至ったものであります。 今後も被保険者が安心して医療が受けられるよう、国民健康保険制度を持続可能な制度として維持し、財政運営の安定化を図ってまいります。	無	無
24		全体	国より5,000円の補助があるのになぜあげるの？ 京都は下げているのに。 所得割に対して均等割は高すぎる。なぜ？	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 また、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、この財政支援により保険料の引き下げを実施した自治体は、もともと保険料が高く設定されている自治体で、京都市の改定後の均等割と平等割の合計額を本市と比較しますと、京都市が71,750円で、本市が52,900円で、本市の方が18,850円低くなっております。	無	無
25		全体	保険料上げるべきでない。 国から5,000円が出ているのになぜ上げるのか。 パブリックコメントにかいてないのはおかしい。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
26		全体	なぜ引き上げ？ パブコメには書いてない。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
27		全体	年金生活で厳しい。 低所得から取るな。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、保険料の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができると考えておりますが、保険料の改定により滞納者が増加しないよう、今後被保険者の生活状況等に応じて、納付相談等により真摯に対応してまいります。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
28		全体	年金が減らされて、この上又医療費があがると大変になっています。 値上げ反対です。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、平成27年度の年金額は、特例水準の平成25年度からの段階的引き下げ及びマクロ経済スライドの発動により、実質の物価、賃金指数を下回ることになりますが、平成26年度との比較では、0.9%引き上げとなっております。	無	無
29		全体	高齢に伴い、病院へかかる回数が増えている昨今。 医療費値上げには絶対反対します。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
30		全体	均等割の+1300円は、非課税で何とか生活している我が家は、今は子供の家に居るから生活できているが、子供が他所へ移ると借家住まいになる。生活保護をなるべくしないように頑張っているが、もうそれも無理となる。 市もそんな住民が増えたらもっと困ると思う。皆が支払える国保にしてほしい。値上げはダメです。 国から一人5000円の補助金のことを、なぜパブコメの資料には書いてないのか。市の方はそれを公開すべき。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 また、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 なお、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置がされており、ここ2年程軽減対象者が拡充されており、来年度についても軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
31		全体	夫が亡くなり遺族年金と自分の国民年金で生活しています。 年金は減る一方で、食料品等の値上がりで生活が大変です。 消費税の負担も重く、この先10%になるなんて大変です。 その上、健康保険料の値上がりは困ります。 値上げ以外に何か良い方法はないのでしょうか？	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、平成27年度の年金額は、特例水準の平成25年度からの段階的引き下げ及びマクロ経済スライドの発動により、実質の物価、賃金指数を下回ることになりますが、平成26年度との比較では、0.9%引き上げとなっております。	無	無
32		全体	国保料Upは弱者に厳しくなる。 政府の財政支援の内容をしっかりと公開して、むしろ市民の負担を少なくする方向で検討して戴きたい。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 また、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 なお、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置がされており、ここ2年程軽減対象者が拡充されており、来年度についても軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
33		全体	国保料の引き上げはやるべきではない。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
34		全体	少ない年金の中から、又ひかれるのはほんとうにこまります。 お金がますます少なくなって、先ゆき心細い思いです。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
35		全体	国保料引き上げは反対です。 生活が大変なうえ、これ以上の負担は無理です。 国からの補助金はどう使われるのでしょうか？回答をお願いします。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっております。 こうした国や県からの補助金等は、全額医療給付費に充当しておりますが、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 また、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 なお、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置がされており、ここ2年程軽減対象者が拡充されており、来年度についても軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
36		全体	絶対反対です。 少ない年金から取らないで下さい。	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。	無	無
37		全体	財政状況が県内でも大変良好と思っていましたが、今年度74歳ですが、病院での支払が3倍になりました。所得制限が6000円オーバーした為との事です。6000円オーバーで現役並み負担とは少々荒っぽい仕切りでは無いか。せめて2割負担くらい木目細かい配慮がほしい。元々柏市に比べて料率も20%高い事でも有り検討してもらいたい。	病院での窓口負担額は、国の法令等で、負担割合、基準等が全国一律で決まっていますのでご理解ください。 また、保険料に関しては、平成25年度の1人あたり保険料が柏市100,226円、本市が96,910円となっており、柏市の方が3,316円負担が多くなっています。 所得に応じて賦課する所得割率は、柏市と比較すると本市の料率が高くなりますが、被保険者数に応じて定額でかかる均等割等は柏市の方が高いため、所得が概ね400万円前後から、世帯の被保険者数が少ない世帯の保険料は、ご指摘のような結果になると推測されます。 これは、流山市の方がより低所得階層や世帯員数に配慮した設定としているためです。	無	無
38		全体	保険者支援金1億6千万円を国保料引下げに使ってください。 保険料は今でも高いです。予防のための医療を充実させ、医療費を削減させるためにも国保料の引き下げは大切だと思います。誰もが安心して病院にかかれるよう引下げしてください。値上げ反対。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることは困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 また、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。 なお、平成25年度の流山市の一人あたりの保険料は、千葉県内54市町村中33位、保険料負担率(所得に占める保険料の割合)は51位であり、千葉県内で比較すると保険料負担率が低い自治体となっております。	無	無
39		全体	来年4月1日から国保料を値上げする提案がありますが、私はこの案に反対です。 年金は引き下げられ、介護保険料は上がり、生活は年々きびしいです	本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。 赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。 なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。 また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。 こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。 国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。 なお、平成27年度の年金額は、特例水準の平成25年度からの段階的引き下げ及びマクロ経済スライドの発動により、実質の物価、賃金指数を下回ることになりますが、平成26年度との比較では、0.9%引き上げとなっております。	無	無
40		全体	来年4月1日から国保料を値上げすると流山市は提案していますが、私はこの提案に反対です。 国からの保険者支援金1億6千万円は、全額保険料の引き下げに使うよう要望します。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることは困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
41		全体	来年の国保料の値上げに反対します。 保険者支援金は1億6千万円もあるのに、なぜ活用しないのですか？ 他市は値下げの方向で考え実施しています。 市民イジメの市政は許せません。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることは困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 また、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。 なお、今回の財政支援により保険料の引き下げを実施した自治体は、元々保険料が高く設定されている自治体であり、改定後の平等割と均等割の合計額を本市と比較しますと、約2～3万円本市の方が低くなっております。	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
42		全体	反対致します。	<p>本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。</p> <p>なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。</p> <p>国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。</p>	無	無
43		全体	国の補助金1億6千万円を活用し、引き下げてください。値上げに反対です。	<p>国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。</p> <p>平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。</p> <p>このため、この財政支援により保険料を引き下げることは困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。</p> <p>なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。</p>	無	無
44		全体	国の流山市への国保料支援金1億6千万円全額を、国保料引下げに必ず使ってください。 国保料の引き下げは止めて下さい。	<p>国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。</p> <p>平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。</p> <p>このため、この財政支援により保険料を引き下げることは困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。</p> <p>なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。</p>	無	無
45		全体	諸物価は上がり、年金は下がりて生活は苦しくなる一方、生活保護基準が何度も下がるということは、生きる権利を阻害するに等しい。 どうか引き上げは止めて下さい。	<p>本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。</p> <p>赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。</p> <p>なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。</p> <p>また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。</p> <p>こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。</p> <p>国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。</p> <p>なお、平成27年度の年金額は、特例水準の平成25年度からの段階的引き下げ及びマクロ経済スライドの発動により、実質の物価、賃金指数を下回ることになりますが、平成26年度との比較では、0.9%引き上げとなっております。</p>	無	無
46		全体	反対致します。	<p>本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。赤字補填分として法定外繰入金を増加させることは、一般会計の財政運営に影響を与える他、国保加入者の受益者負担や公平性の観点から、国保被保険者でない多くの市民に理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。</p> <p>なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。</p> <p>国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。</p>	無	無
47		全体	<p>本保険料の引き上げに反対です。</p> <p>所謂かい離の1億4,800万円を不足とらえ引き上げにより確保することに合理性はないと史料します。</p> <p>昨今の円安、株高で恩恵に浴している極一部の人達を除き、一般国民の生活が楽になったとの話はありません。逆に生活苦、貧困化が一層進行しているのが現状です。</p> <p>自治体としては市民の負担軽減をはかり生活を支援することこそが求められています。</p> <p>28年度繰入金4億1,927万円は、現状・現行ベースの有り姿であって、先の策定の2億7,110万円に合致(又は近似)させなければならない性格のものではないと史料します。</p>	<p>本市の国保財政は、平成21年度以降保険料を据え置いてきたため、一般会計からの赤字補填である法定外繰入金が増加し、4億円を超える状況となっています。</p> <p>赤字繰入金は、国民健康保険に加入していない多くの市民にも負担をお願いするものであることから、赤字繰入金の増大は理解が得られないところであり、国保被保険者に応分の負担をお願いするものです。</p> <p>なお、保険料の改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、今回の改定にあたっては、所得階層別や世帯員数別の負担を考慮し、応分な負担を設定させていただきました。</p> <p>また、低所得者に対し、保険料のうち均等割額と平等割額については、所得に応じて7割、5割、2割を軽減する措置が行われており、ここ2年ほど、軽減対象者が拡充され、来年度についても、軽減の拡充が図られるよう国で検討がされているところです。</p> <p>こうした対策により、低所得者に対する均等割額引き上げの影響を抑制することができるものと考えます。</p> <p>国民健康保険制度を持続可能な制度とし、皆さんが安心して医療を受けることができるようにするためにも、保険料の引き上げは必要と考えておりますのでご理解願います。</p>	無	無

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	条例 修正案
48		全体	保険者支援金1億6千万全額を、保険料引き下げに使うべき。 国保料値上げは反対です。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
49		全体	介護保険料と利用料の引き上げにつづいて、国保料の引き上げは反対です。 国からの支援金を使って引き下げてください。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
50		全体	国保料が高くて家計がとても苦しいです。 保険者支援金全額を高すぎる国保料引下げに使ってください。 国保料値上げ反対です。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
51		全体	流山市の保険者支援金1億6千万円が国からおりているにも限らず、キチンと市民に対して活用されるべきだと思いますので、反対です。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
52		全体	国保料の値上げを中止して、保険者支援金を全額国保料引き下げに使う下さい。 値上げ反対です。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
53		全体	国保料の値上げには反対です。 保険者支援金は、国保料引下げに使って下さい。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無
54		全体	来年4月1日から国保料を値上げすると流山市は提案していますが、私はこの提案に反対です。 国からの保険者支援金1億6千万円は、全額国保料の引き下げに使うよう要望します。	国民健康保険制度の構造的な課題の解決に向け、平成27年度から毎年実施される1,700億円の財政支援により、本市では約1億6千万円の歳入増を見込んでいますが、一方で、国からの療養給付費等負担金が減額されてしまうため、実質約9,000万円の歳入増となります。 平成28年度においては、この財政支援を見込んだうえで、一般会計からの赤字補填分が、パブリックコメントの参考資料 で示した4億1,927万円9千円となっており、新たな財政支援があっても、医療費等の歳出の増大が上回るため、赤字分を補うことができない状況にあります。 このため、この財政支援により保険料を引き下げることが困難であり、4億円を超える赤字繰入金を削減し、国保財政の基盤を安定させるため、保険料の引き上げをお願いするものです。 なお、この改定により、約4億円の赤字繰入金の一部である1億4,800万円が削減できる見込みであり、増大する赤字繰入金を抑制できると考えております。	無	無